

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状

【白幡地区】

2020年4月更新の時点、総人口 13,721人、65 歳以上の人口 3,186人（高齢化率 23.2 %）。以前は大手企業の大規模な住宅があった地域で、新興の住宅と昔ながらの住宅が混在している地域。市営バスが区内を1時間に1本程度の運行を行っているが、急坂や階段が多い丘陵地であり、道路幅員が狭く車の通れない道路も多くゴミ集積場までが遠く出せない、生活用品や食料品を買いに行きにくいなど移動支援や生活支援に対するニーズの高い地区といえる。また、ほぼ全ての町会が会館を有し、独自に町内会活動や会合が行える環境が整っている事もあり、単位町内会単位での独自の活動を多く有している特徴がある。一方、高齢化に伴う参加者の減少等課題の声は共通のキーワードとして聞かれ、地区会長会議の参加メンバーの拡充や町会を越えてのつながりの醸成を目的に「白幡の輪」が発足するなど、町内会を越えての取組が生まれつつある。

その上、管轄ケアプラザまでは急坂を登らなければ行くことができない為、積極的にケアプラザが地区へ出向き相談会や勉強会・講座を行う中、2町内会で身近な交流拠点、集いの場としての地域カフェ活動が開始され、区内でも遠いエリアへのアプローチが可能となるなど、出張対応を軸に地区支援を行っており、継続していくことが必要である。

【神北地区】

2020 年4月更新の時点、総人口 11,081人、65 歳以上の人口 2,536人（高齢化率 22.9%）。

かつては市電の沿線の歓楽街であり商業が盛んな地域でもあった平地側と神奈川大学へと続く丘陵地に大きく分かれる地区特性を有する。地区中央には上麻生線が南北に走り、東急東横線や京急線、JR3駅を利用できる立地の良さから近年、平地側ではマンション建築が進み新しい住民が増えている地域がある一方で、山側を中心とした昔ながらの木造住宅が密集し独居高齢者や高齢夫婦世帯が多い地域も点在し、地形を基に課題も異なる傾向がある。山側では道路幅員が狭く車の通れない道路が多くあり、市営バスの路線の廃線等により日ごろの買い物や移動に課題に上がことから2019年に、近隣デイサービスの空車両を活用したお買い物シャトルの運営を行う等の取組がスタートしている。一方、平地側では急速な新規居住者の流入により住民の把握ができない、町会加入率の低下などつながりづくりに課題を感じているとの声が聞かれ地域カフェや地域食堂といった集いの場の運営が盛んに行われている。

また区内には、数十年前まで神奈川大学の学生が借りていたような木造単身者アパートに独居高齢者が住んでいることもあり、複合な課題を抱えている方や状況が把握しづらい閉じこもりがちの方も多いという課題がある。ケアプラザとしては、早めに関係者と情報共有を行うことが必要である。

【六角橋地区】

2020年4月更新の時点、総人口 13,552人、65 歳以上の人口 3,242人（高齢化率 29.9%）。

東急東横線白楽駅、横浜市市営地下鉄ブルーライン岸根公園駅が近く、バスの運行も多い上麻生線沿いの地域であり、交通の便が非常に良い地区である。地区の特徴として六角橋商店街や神奈川大学があり日中の人通りも多い反面、利便性の良さからワーキング世代は都内に働きに出る人も多く、地域活動も土日や夜間に実施されることが多い。高齢者世代の方は、運動機能の維持や健康に対する意識が高く介護予防の取り組みが浸透しているが、自治町内会館がない所が多く活動場所に偏りがある。また、地区社会福祉協議会を中心に、「子育て広場」をケアプラザと共催で開催するなど、子育て支援にも力を注いでおり、支え愛プランにも子どもに向けた支援が主軸に掲載されている事も特徴である。その他にも、杉山大神の世話人を年番として受け持つなど、連合町内会としてのつながりが強い事も特徴として上げられ「ろっかく“まるっと”情報局」(自治連合会プロジェクトのホームページ)の運営など他地区にはない取組みが近年生み出されている。中でも、2015年「まち×学生プロジェクト」を立ち上げ、「神大マルシェ」「オレンジプロジェクト」「キャンドルナイト」「まちSHOKU」等多世代交流のためのイベント企画や社会問題へのアプローチなど地域と大学の協働での取り組みが多くメディアに取り上げられ、数々の賞を受賞するなど、地域に根付き発展してきた。

今後の方向性

今後の方向性として、ケアプラザから遠いエリアや交通機関へのアクセスがしにくい場所、集まる機会の少ない場所等で、より身近な場所で住民が集える拠点を増やしていく。又全エリアを通し公共交通機関にアクセスしにくい地域もあり、日常の移動手段について区行政と協力し、安定した運用ができる方法を検討していく。さらに6年目を迎え世代交代が進む中「まち×学生プロジェクト」の安定した運営の組織づくりや「オレンジプロジェクト」等課題を整理し関係機関と継続可能な方法を検討しながらまちづくりとしての地域包括システム・持続可能な地域共生社会の実現に向けて推進をしていく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地区の状況に合わせ、共催や事務局等、継続支援を行い、活動の安定的な運営かつ定着を目指す。 ○「白幡の輪」の開催 ○「みち遊び」の実施 ○地形を要因とする生活課題へのアプローチ
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○地域カフェ連絡会の開催 ○「コーヒーを学んでサロンを作ろう♪第5弾」の開催 ○学校法人三幸学園とのイベントコラボレーション
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	当ケアプラザのネットワークや場を活用し、福祉保健活動やまちづくりに寄与するボランティアコーディネートを実践する。 ○当ケアプラザ主催事業各種 ○まち×学生プロジェクト各事業 ○子育て広場 ○地域カフェ 等
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○地域の人たちが介護予防を知る最初の入口として教室や各種勉強会を開催する。 ○ケアマネジャー向けの介護予防を意識した介護予防マネジメントやアセスメントをテーマにした研修をケアプラザで行う。 ○また、ケアマネジャーからも介護予防事業を紹介しやすいようにする。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	移動・輸送支援サービスの構築に向け行政と連携し、役割分担を明確にし他地区でも実施できる汎用性のあるパッケージの開発・発信を行う。 ○【区】企業連携や協力依頼など活動の広がり、他地区への周知・連携を行う。 ○【ケアプラザ】ノウハウや課題の共有・お買い物支援サービスの運営支援

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

【各項目の振り返り】

●**地区の状況に合わせ、共催や事務局等、継続支援を行い、活動の安定的な運営かつ定着を目指す。**
 第4期地福計画の推進の一助となる取組みについて地区特性に考慮し地区ごとに重点テーマを設定し、推進に努めた。

○「地域カフェ」の運営支援と新規立ち上げ(白幡地区)
 ○みちあそびの開催(六角橋地区)
 ○「齋南買い物支援ネットワーク」の発足とトライアル実施(神北地区)

●**地域カフェ連絡会の開催、「コーヒーを学んでサロンを作ろう」第5弾の開催、学校法人三幸学園とのイベントコラボレーション**

○今年度は集まる事はせず、地域交流、生活支援の両COが出向き、各カフェの状況を把握した。再開・継続支援行い既存カフェ12か所のうち、11か所が再開する事ができた。

○9月に白幡地区ではフォローアップ講座を開催、2月上旬に白幡上町自治会館で新規立ち上げ講座を実施予定。

●**当ケアプラザのネットワークや場を活用し、福祉保健活動やまちづくりに寄与するボランティアコーディネートを実践する。**

社会状況もあまり改善せず、当初の計画通りには進まなかったものの神奈川大学主催かながわユースフォーラム2021の実行委員を務めると共に、また新たに「はしかけプロジェクト」の発足を支援しキャンドルナイトの実行委員や「みちあそび」のお手伝いなどをコーディネート行った。その他にも、ケアプラザ10周年の機を捉え貸館利用団体に作品展示を依頼する等、福祉保健活動が停滞しないようボランティアコーディネートに努めた。

●**地域の人たちが介護予防を知る最初の入口として教室や各種勉強会を開催する。ケアマネジャー向けの介護予防を意識した介護予防マネジメントやアセスメントをテーマにした研修をケアプラザで行う。**

また、ケアマネジャーからも介護予防事業を紹介しやすいようにする。

○高齢者サロンやシニアクラブへ手ぬぐい体操などを行っている。
 ○神奈川区内の他の包括と合同で介護予防アセスメント研修を年度内に行う予定。
 ○その中で、介護予防事業のインフォーマル情報も提供できるようにする。

●**移動・輸送支援サービスの構築に向け行政と連携し、役割分担を明確にし他地区でも実施できる汎用性のあるパッケージの開発・発信を行う。**

平成31年に立ち上がった「中丸買い物支援ネットワーク」の立ち上げ・運営の仕組みを基に、済生会神奈川県病院と連携し、「齋南買い物支援ネットワーク」を町内会と共に立ち上げ、トライアル運行(全4回)に至る。その他に、区発行の「地域の輪通信」への協力や区社協主催の勉強会での発表等を通じ、他地区への情報発信にも努めた。

【全体を通して】

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みながらの運営を強いられる中においても、各部署が創意工夫を凝らしながら個別支援、地域支援が停滞しないよう努めました。

個別支援においては、相談件数の増加に伴い複合的な問題のある事例も増え地域や多機関との連携が必要となってきた。そして、フレイル予備軍やうつ傾向になる方が増加していることも意識した支援をおこなっている。特に今年度は、介護者のつどいを町会館をお借りし出張型で実施、ケアマネジャー向けの研修では「高齢者虐待防止対応」や「成年後見制度」研修をハイブリッドにて開催している。また、地域貢献事業として済生会東神奈川リハビリテーション病院と共催し、地域のサロン活動者のリーダー向けにPTによる体操指導もおこなっている。また、地域活動支援センターひふみと情報交換もおこない介護保険・介護予防の話をする機会も得た。サービス事業者や民生委員・児童委員の声から六角橋デイサービスMAPの作成に向けて話し合いをすすめている。今後も地域の現状に合わせて地域の方々や関係機関と協力して生活支援Co.と共に支援を進めていきたいと考えている。

地域支援においては、今年度完成をみる第4期地域福祉保健計画の策定の一助となる取組みについて各地区特性・課題を考慮した取組みについて重点的に支援し資源開発につなげた。白幡地区では、昨年度立ち上がった地域カフェ(2か所)の運営支援を行うと共に、新たに白幡上町・白幡西町での地域カフェ開催への準備を進め「コーヒーを学んでサロンを作ろう」第5弾の開催に至りました。神北地区では、近接地区で先駆的にスタートした移動支援のノウハウや運営方法を参考に済生会神奈川県病院の車両提供を受けての「齋南買い物支援ネットワーク」を発足し、全4回のトライアル運行に至っている。最後に、六角橋地区では、第4期地福計画の柱に「子ども支援」と位置づけ数年前より実施を模索していた「みちあそび」の実施に至る等、各地区の地域課題やニーズに対応する事業を支援や発足に尽力し成果を上げている。

また新規事業の支援を行うだけに留まらず、地域のネットワークを活用し展開するオレンジプロジェクトでは、近隣デイサービスへのオンラインを活用した音楽療法の配信や区を越え「あざみ野認知症の人にやさしい街プロジェクト」との連携など活動の範囲を広げる結果を生んだ。キャンドルナイトにおいては、神奈川区24か所以上の施設の参加に留まらず港北区12か所でも同時点灯され、区域を問わず生活圏域に着目した事業の展開に至った。

両事業においても、一過性のイベントに留まらず対面のメリット・オンラインのメリットを活用しながら、コロナ禍のつながり・ネットワーク構築を考える上でも先駆的な取組みと考えている。今後も地域包括システム・持続可能な地域共生社会の実現に向けて事業展開に繋げていきたい。

□ 区からのコメント

今年度も、「地域カフェの立ち上げ・継続支援」「買い物支援ネットワークの新規立ち上げ」など住民のニーズを汲み取り、着実に地域づくりを進めてきました。「キャンドルナイト」、「みち遊び」など町内会、大学、専門学校と連携した独創的な取組についても、日頃から地域アセスメントを丁寧に行い、関係者間で情報共有している強みが活かされた素晴らしい取組と考えています。

個別支援においては、相談件数が増加し、複合的な要因を抱える事例も多くなっている中で、各部署が上手く連携して対応されています。コロナの影響で高齢者の外出機会の減少が懸念される中で、ケアプラザから離れた地域の住民の方に向けて出張相談会を開催したり、オンラインでの会合を積極的に取り入れるなど、地域支援に関する工夫も随所に見られました。また、神奈川区版エンディングノート「ライフデザインノート」の普及も、機会を捉えて行うなど、地道な活動が成果を挙げています。

高齢者支援についても、どの事業もレベルが高く、さらに積極的にアウトリーチを行っておりエリアの隅々まで支援が行き届くように努力しています。今後も新型コロナウイルスの影響から、難しい局面が続くものと思われませんが、区役所も含め、関係機関と連携しながら対応していくことを期待しています。引き続き地域への支援をお願いします。

令和3年度 横浜市六角橋地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターにおいては、相談時に事業所を選んで頂く際に、ハートページやパンフレットを活用し、ご利用者様、ご家族様が選びやすいよう工夫していきます。 ・ご利用者様、ご家族様のご意見を聞き、適切な情報提供ができるよう、非常勤職員を含め研修を受講しスキルアップにつとめます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を策定し、毎月1回、事故防止、個人情報保護、倫理規定、虐待防止等の研修を行います。 ・ヒヤリハットの報告書を作成し、是正策を含め職員で話し合い、回覧することにより再発防止に努めます。 ・個人情報を取り扱う際の注意点をまとめ、事務所内での掲示、読み合わせにより常に注意喚起を行います。
実績	<p>地域包括支援センターでは、ハートページや各事業所のパンフレット等を複数提示し、相談が選定できるように対応しました。また、職員全体研修を通じ公正で中立性の保たれた運営確保に努めています。</p>	<p>上記計画の通り実施しました。 月1回程度、非常勤職員を含めた研修担当を決め、基礎研修等を職員全員が受けられるよう工夫しました。 個人情報を取り扱う際の注意点をまとめ、常に事務所内に掲示するとともに、読み合わせを行う事で注意喚起を行いました。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援1・2と認定を受けた方が、住み慣れた地域での自立した生活が継続できるよう、ご利用者様の自主性を尊重した自立支援を目指した介護予防ケアマネジメント、介護予防サービス計画の作成及びサービスの調整を行う。 ・事業対象者や要支援に目標に近づけるよう、フォーマルで利用できるサービスの他、地域で利用・参加できるインフォーマルサービスを伝えていく。 ・部門内職員での情報共有を密に行い、急な対応等も迅速に行えるような体制を構築していく。また、住み慣れた地域での生活を支援するためには職員の専門性向上が不可欠であるため、年間を通じて外部研修に積極的に参加し知識と技術の向上に務めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係行政機関、保健福祉医療機関、ボランティア団体との連携を図り、多様な事業者から総合的にかつ効率的にサービスが提供されるように調整する。 ・ケアプラザにある居宅介護支援事業として、医療依存度が高い方などの在宅限界を高めるなどの支援を行うと共に、難しい対応が必要な方の受入を積極的に行う。 ・定期的な部門の会議を開催し、担当不在時でも他職員が対応できるよう情報の共有化を行っていく。 ・医療機関からの相談も受けられるように、顔の見える関係を築く。 ・1人35件の担当ができるように、関係機関との連携を強化する。
職員体制	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者1名(常勤兼務) ・社会福祉士2名(常勤兼務) ・主任介護支援専門員1名(常勤兼務) ・保健師1名(常勤兼務) ・看護師1名(常勤兼務) 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者1名(常勤兼務) ・主任介護支援専門員2名(常勤専従) ・介護支援専門員1名(常勤専従)
契約者数	予防契約数:342名	居宅契約数:141名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> 【実施日数】 【提供時間】 【定員】 	<ul style="list-style-type: none"> 【実施日数】 【提供時間】 【定員】 	<ul style="list-style-type: none"> 【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実負担			
職員体制			
契約者数等	<ul style="list-style-type: none"> 【延べ利用者数】 【契約者数】 	<ul style="list-style-type: none"> 【延べ利用者数】 【契約者数】 	<ul style="list-style-type: none"> 【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
1	サンSUNルーム	H24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	乳幼児と保護者がいつでも遊びに来れる常設の場、休憩できる場としてケアプラザを開放する。	3:養育者及び乳幼児		常設のキッズルームを運営する。
2	子育て広場	H24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援。乳幼児と保護者の交流の場を提供する。子育ての情報提供を発信する。	3:養育者及び乳幼児		乳幼児と保護者を対象とした交流の場を開催する。
3	白幡個別相談会	H27年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	包括支援センター職員が、ケアプラザへのアクセスが悪い地域に出向き、相談会を開催することで、情報提供や相談できる場を地域の中にする。	1:高齢者		包括支援センター職員による相談会。
4	保育のお話基本のキ-Online-	R2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	神奈川県の子育てコンシェルジュや子育てサポートシステムについて知って頂く機会を提供する。	3:養育者及び乳幼児		保育園の申し込み方法や神奈川県の子育てコンシェルジュ・子育てパートナーについて知って頂く相談する機会を設ける。
5	介護者のつどい	H26年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者の気分転換、相談の場を提供する。	1:高齢者		各回のテーマを決め、在宅で介護する方や介護に関心のある方へ情報や介護のコツを伝える。介護者同士の交流の機会を設ける。
6	ハイソ白幡東～健康ひろば	H31年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	包括支援センター職員が、ケアプラザへのアクセスが悪い地域に出向き、個別相談や介護予防等の取り組みを行う。地域との共催により見守り機能としての役割も果たす。	1:高齢者		・包括支援センター職員による個別相談会の実施。 ・介護予防につながるミニ勉強会や情報提供を行う。
7	ライフデザインノート活用講座	H31年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	横浜市意思決定支援事業で神奈川県ではライフデザインノートの作成を行い、普及啓発を行う。	1:高齢者		講師によるライフデザインノート活用術
8	司法書士・行政書士による無料相談会	H24年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	司法書士・行政書士による相談会を行い、成年後見制度や相続遺言等について専門的な相談ができる場を設ける。	1:高齢者	5	司法書士・行政書士による無料相談会。
9	オレンジプロジェクト2021 認知症であろうとなかろうと～ アイある場所で暮らしたい～	H28年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	オレンジプロジェクトの一環。認知症の理解を地域で深め、誰もが「認知症の方を受け入れ、社会の一員として迎え入れられるような地域をつくる」	5:地域		六角橋商店街内の店舗を活用しての認知症ミニ講座。
10	オレンジプロジェクト2021 音楽療法を知ろう!	H28年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	オレンジプロジェクトの一環。認知症の理解を地域で深め、誰もが「認知症の方を受け入れ、社会の一員として迎え入れられるような地域をつくる」	6:事業者		オンライン(ZOOM)を活用し、近隣デイサービスに音楽療法を届ける。
11	子ども・プール水遊びデー	H25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援の一環として、夏休みの余暇を提供する。また、大学生の地域デビュー・ボランティアデビューの機会を作り出す。	3:養育者及び乳幼児		大学生ボランティアと共に、当施設3階でプールを開催。
12	クラリネットを楽しむ～ summerConcert～	R3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍で活動の機会を失っている学生へ発表の機会を提供するとともに、地域の中で外出の機会を失っている高齢者との音楽を通じての交流の機会を設ける。	5:地域		クラリネット4重奏の音楽会を開催。
13	まちなかクラリックス～まちの中の音楽会～	R3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	コロナ禍で活動の機会を失っている学生へ発表の機会を提供するとともに、地域の中で外出の機会を失っている高齢者との音楽を通じての交流の機会を設ける。	5:地域		クラリネット4重奏の音楽会を開催。クラリネットを楽しむ～サマーコンサート～を定例化したもの。
14	コーヒーを学んでサロンを作ろう♪ フォローアップ講座	H28年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	コーヒーを学んでサロンを作ろう♪第4弾卒業生の地域デビュー後のフォローアップを目的に、季節にあったアイスコーヒーの淹れ方講座を開催し、地域カフェの運営を支援する。	7:その他		アイスコーヒーの淹れ方講座を開催する。
15	ライフデザインノート普及啓発講座	R3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	横浜市意思決定支援事業で神奈川県ではライフデザインノートの作成を行い、普及啓発を行う。	1:高齢者		ライフデザインノートの説明と書き方についての話。

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
16	キャンドルナイト2021 (キャンドルホルダーづくり)	R2年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	子どもからお年寄りまで個人でも施設単位まで誰でも参加できる企画を実施すると共に、キャンドルホルダーを家形で統一することで「アフターコロナの夢」などを表現する。	5：地域		キャンドルナイト2021の開催に向けた作品づくりのワークショップを開催する、
17	キャンドルナイト2021	H30年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	子どもからお年寄りまで個人でも施設単位まで誰でも参加できる企画を実施すると共に、キャンドルホルダーを家形で統一することで「アフターコロナの夢」などを表現する。	5：地域		牛乳パックで一ひとりオリジナルのキャンドルホルダーをつくり、神奈川県24か所・港北区12か所で開催する。
18	クリスマスパレード ～ちびっこサンタがやってくる～	R2年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地元商店や企業と子育て世代の交流の機会を創ると共に、学校法人三幸学園様と共催することで今後の連携の形を模索する。	5：地域		学校法人三幸学園の学生と共に、地元のお店や企業を回り、クリスマスプレゼントを貰い、街を知る企画を実施する。
19	オハナの遊び場	H28年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	学生ボランティアの定期的な活動の機会を提供すると共に、土曜日に家族そろって楽しめる企画を提供する。	4：子ども・青少年		神奈川大学ボランティア部GLOBAL☆YEN☆LEAPと共催し、学生と子育て世代双方が楽しめる企画を実施する。
20	キャンドルナイトツアー	R3年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	地域とディサービスの地域貢献と施設間連携をつなぐ。	1：高齢者		地域交流事業「キャンドルナイト2021」一斉点灯日に民生委員とみまもり対象者をディサービスの車で3施設をまわる。
21	サロン交流会	R2年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	サロン・元気づくりステーションの横の繋がりが作り。	1：高齢者	5.7	コロナ禍でも、工夫して再開したサロン同士の情報交換。事前アンケートよりサロンの内容のマンネリ化・参加者の転倒される方が多いという結果から理学療法士により転倒予防の体操講座を開催。
22	コーヒーを学んでサロンを作ろう♪	H27年度	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	地域カフェ運営ボランティアの発掘と育成。	5：地域	5	ドトールエネジエツト六角橋店に協力を依頼し、コーヒーの淹れ方を学び地域カフェのボランティア育成を実施する全5回講座を開催。(今年度は2回目中止のため4回講座に変更)
23	【ミニ】コーヒーを学んでサロンを作ろう♪	H27年度	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	地域カフェ運営ボランティアの発掘と育成。	5：地域	5	上記の講座が定員に達してしまい、地域の声より、短縮版で開催した。

令和3年度「横浜市六角橋地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,692,000	0	19,692,000	19,692,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0	0	0	70,000	△ 70,000	
雑入	0	0	0	11,330	△ 11,330	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	11,330	△ 11,330	
その他	65,500	0	65,500	0	65,500	
収入合計	19,757,500	0	19,757,500	19,773,330	△ 15,830	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,774,500	0	11,774,500	13,015,841	△ 1,241,341	
本俸	8,074,500	0	8,074,500	8,840,571	△ 766,071	
社会保険料	1,245,000	0	1,245,000	1,269,686	△ 24,686	
手当計	2,335,000	0	2,335,000	2,766,729	△ 431,729	
健康診断費	70,000	0	70,000	25,594	44,406	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0	0	0	100,767	△ 100,767	
その他	50,000	0	50,000	12,494	37,506	
事務費	2,428,500	0	2,428,500	2,883,529	△ 455,029	
旅費	60,000	0	60,000	33,907	26,093	
消耗品費	800,000	0	800,000	511,715	288,285	
会議随時費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	120,000	0	120,000	60,500	59,500	
通信費	450,000	0	450,000	425,530	24,470	
使用料及び賃借料	0	0	0	298,284	△ 298,284	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	298,284	△ 298,284	
備品購入費	200,000	0	200,000	0	200,000	
図書購入費	73,000	0	73,000	5,280	67,720	
施設賠償責任保険	150,000	0	150,000	60,567	89,433	
職員等研修費	50,000	0	50,000	27,524	22,476	
振込手数料	30,000	0	30,000	2,162	27,838	
リース料	0	0	0	92,449	△ 92,449	
手数料	80,000	0	80,000	29,160	50,840	
地域協力費	350,000	0	350,000	0	350,000	
その他	65,500	0	65,500	1,336,451	△ 1,270,951	
事業費	278,000	0	278,000	195,404	82,596	
運営協議会経費	42,000	0	42,000	0	42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	236,000	0	236,000	195,404	40,596	
その他	0	0	0	0	0	
管理費	3,710,000	0	3,710,000	3,916,621	△ 206,621	
光熱水費	2,300,000	0	2,300,000	0	2,300,000	
清掃費	1,200,000	0	1,200,000	0	1,200,000	
機械警備費	60,000	0	60,000	0	60,000	
設備保全費	50,000	0	50,000	0	50,000	
空調衛生設備保守	0	0	0	0	0	
消防設備保守	0	0	0	0	0	
電気設備保守	0	0	0	0	0	
害虫駆除清掃保守	50,000	0	50,000	0	50,000	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	0	0	0	0	0	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	100,000	0	100,000	3,916,621	△ 3,816,621	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	
公租公課	1,092,500	0	1,092,500	0	1,092,500	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	1,092,500	0	1,092,500	0	1,092,500	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	19,757,500	0	19,757,500	20,011,395	△ 253,895	
差引	0	0	0	△ 238,065	238,065	

自主事業費 収入	0	0	0	70,000	△ 70,000	
自主事業費 支出	236,000	0	236,000	195,404	40,596	
自主事業 収支	△ 236,000	0	△ 236,000	△ 125,404	△ 110,596	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度「横浜市六角橋地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部 (単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,448,000	0	30,448,000	30,448,000	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000	0	5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	23,000	0	23,000	0	23,000	
収入合計	36,427,000	0	36,427,000	36,404,000	23,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,670,000	0	31,670,000	30,302,645	1,367,355	
本俸	25,400,000	0	25,400,000	15,205,497	10,194,503	
社会保険料	2,500,000	0	2,500,000	3,869,640	△ 1,369,640	
手当計	3,400,000	0	3,400,000	10,665,387	△ 7,265,387	
健康診断費	70,000	0	70,000	39,912	30,088	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0	0	0	504,228	△ 504,228	
その他	300,000	0	300,000	17,981	282,019	
事務費	1,830,000	0	1,830,000	2,387,183	△ 557,183	
旅費	60,000	0	60,000	7,738	52,262	
消耗品費	907,000	0	907,000	415,656	491,344	
会議ठी費	0	0	0	930	△ 930	
印刷製本費	120,000	0	120,000	16,500	103,500	
通信費	100,000	0	100,000	347,376	△ 247,376	
使用料及び賃借料	0	0	0	235,262	△ 235,262	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	235,262	△ 235,262	
備品購入費	350,000	0	350,000	0	350,000	
図書購入費	10,000	0	10,000	2,420	7,580	
施設賠償責任保険	80,000	0	80,000	45,425	34,575	
職員等研修費	0	0	0	64,184	△ 64,184	
振込手数料	30,000	0	30,000	6,092	23,908	
リース料	0	0	0	24,571	△ 24,571	
手数料	150,000	0	150,000	23,000	127,000	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	23,000	0	23,000	1,198,029	△ 1,175,029	
事業費	931,000	0	931,000	632,813	298,187	
協力医	630,000	0	630,000	504,000	126,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000	0	100,000	26,449	73,551	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000	0	151,000	76,472	74,528	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	50,000	0	50,000	25,892	24,108	
その他	0	0	0	0	0	
管理費	1,870,000	0	1,870,000	1,041,126	828,874	
光熱水費	200,000	0	200,000	0	200,000	
清掃費	1,450,000	0	1,450,000	0	1,450,000	
機械警備費	0	0	0	0	0	
設備保全費	100,000	0	100,000	0	100,000	
空調衛生設備保守	0	0	0	0	0	
消防設備保守	0	0	0	0	0	
電気設備保守	0	0	0	0	0	
害虫駆除清掃保守	20,000	0	20,000	0	20,000	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	0	0	0	0	0	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	120,000	0	120,000	1,041,126	△ 921,126	
修繕費	126,000	0	126,000	0	126,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	36,427,000	0	36,427,000	34,363,767	2,063,233	
差引	0	0	0	2,040,233	△ 2,040,233	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	301,000	0	301,000	128,813	172,187	
自主事業 収支	△ 301,000	0	△ 301,000	△ 128,813	△ 172,187	
管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市六角橋地域ケアプラザ

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	34,856	7,077	27,779	19,356	12,293	7,063	30,565	28,860	1,705
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	-138
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サービス繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	138	-138
	収入合計(A)	34,856	7,077	27,779	19,356	12,293	7,063	30,565	28,998	1,567
	支出	人件費	24,612	1,978	22,634	15,640	3,435	12,205	22,739	13,517
事務費		2,874	41	2,833	2,450	71	2,379	5,693	167	5,526
事業費		192	867	-675	200	1,506	-1,306	0	3,552	-3,552
管理費		0	9	-9	0	16	-16	0	38	-38
その他		84	6,203	-6,119	10	10,152	-10,142	0	83	-139
利用者負担軽減額		0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費税		0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防プラン委託料		0	6,203	-6,203	0	10,117	-10,117	0	0	0
減価償却費		0	0	0	0	0	0	0	139	-139
その他		84	0	84	10	35	-25	0	0	0
支出合計(B)	27,762	9,098	18,664	18,300	15,180	3,120	28,432	17,357	11,019	
収支 (A) - (B)	7,094	-2,021	9,115	1,056	-2,887	3,943	2,133	11,641	-9,452	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。